

社保・平和運動ニュース 第44期 No.18

発行：2021年3月17日 全日本民医連 社保運動・政策部/共同運動部

TEL：03-5842-6451 FAX：03-5842-6460 MAIL：min-syaho@min-iren.gr.jp

全日本民医連企画

「3.11 原発事故から 10 年、原発ゼロと福島のことを考える」

日時：2021年4月10日(土) 14:00～16:00

参加対象：民医連職員、共同組織の方

参加方法：zoom と youtube

Zoom ミーティング ID: 825 3239 1057 パスワード: hibaku10

youtube https://youtu.be/_U_ve3W93DY

※zoom に入れなかった場合は youtube でご試聴ください。

Youtube は集会終了後にもご試聴できます。



プログラム

14:00 開会

14:05 記念講演 「福島原発事故 10年後のゆくえと新たな課題」 佐藤政男氏

講演 60分 質疑 10分

15:15 福島からのリレートーク

15:45 原発ゼロ大運動 行動提起

15:55 閉会

講師プロフィール

佐藤 政男(さとう まさお)：東北大学薬学研究科博士課程修了、薬学博士。福島県立医科大学公害医学研究室助教授、徳島文理大学薬学部教授および教育センター副センター長を経て、現在、日本毒性学会生体金属部会・副会長。福島県革新懇代表世話人

3.11 イレブン宣伝行動 in 新宿駅西口

民医連も参加する原発をなくす全国連絡会は、原発事故から 10 年の 3 月 11 日に新宿駅西口で 12 時から約 1 時間イレブン宣伝行動を行いました。10 団体 36 人が参加、72 筆の署名を集めました。女性や若い方も署名しに立ち寄ってくれたり原発に対する関心の高まりを感じました。訴えでは日本共産党からは笠井亮衆議院議員が、「10 年の間に反原連の金官行動や各地での抗議行動が広がり、原発ゼロは圧倒的多数の声になった。原発ゼロを実現する政府を作ろう」と呼びかけました。農民連の吉川利明事務局長は「原発事故後甚大な打撃を受けた農業は、10 年たっても元の水準には戻っていない。さらに農家の放射線被ばくを管理する制度がなく不安にさらされている。原発と農業は共存できない」と原発ゼロを求めました。

3.11 前後の各地の取り組みをニュースを全日本までお送りください！



原発ゼロ・自然エネルギー100 世界会議～福島原発事故から 10 年～

原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟（原自連）は 3 月 11 日にオンラインイベントを開催しました。その中で原発をなくす全国連絡会も持ち込み企画として 15:15～15:45 の時間帯で「原発ゼロ基本法の制定で今こそ原発ゼロと再生可能エネルギーへの転換を！」を行いました。



SNS で配信できる原発ゼロ基本法のショートムービーを紹介。笠井亮衆議院議員から原発ゼロ基本法を巡る国会情勢の報告、ふくしま復興共同センターの斉藤富春さんが福島の避難の状況や高校生を対象に行った原発事故に関するアンケートの結果の報告がありました。オンラインイベントの各企画はまだ原自連の youtube チャンネルから見る事ができます。下の URL からご覧ください。

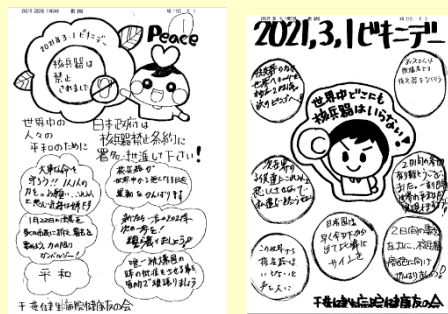
https://www.youtube.com/channel/UCj7aUjuBvynasbPGQsMcnA/videos



3.1 ビキニデー オンラインで開催される



今年のビキニデーはオンラインで行われました。当日の ZOOM チャットには、民医連の事業所から続々と「参加しています」とメッセージが寄せられました。2月 28 日の第一分科会 新しい署名の全国交流では福井民医連 あわら薬局から山本さんが、職員の想いを記入したきれいなタペストリーをバックに職場での取り組みを報告しました。また、千葉健生病院健康友の会から会場に激励の寄せ書き FAX が送られました。



原水協提供

署名 1 次集約

原発を廃止し、再生可能エネルギーに転換する

原発ゼロ基本法の制定を求める請願

まだお手元に署名があるところは早めにお送りください。

